

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

Kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちわ。新緑まぶしい五月。早くも初夏の気分ですね。旧暦の知立の今月の縁日は九日、旧暦のご祥当(三月二十一日)です。新暦の覚王山は、もちろん毎月恒例の二十一日です。

般若心経の意味を学ぶ今年のかかわら版。生き方や社会のあり方を考える際の道標(みちしるべ)です。

今月はご心経の前半の人氣(?)の一節「舍利子(しやーりーしー)色不異空(しきふーいーくう)空不異色(くうふーいーしき)色即是空(いきそくぜーくう)空即是色(くうそくぜーしき)」の十九文字。

舍利子はお釈迦様の十大弟子のひとり。そうです、弟子に語りかけているのです。舍利弗(しやりほつ)が正式な名前。サンスクリット語ではシャーリプトラ。「智慧第一」と呼ばれた俊才です。

先月の五蘊(ごうん)の解説を思い出し出してください。「色」はかたちある物のこと。「空」は実体がないこと。「色不異空」は、かたちある物は実体がないのと同じこと。

「空不異色」は、実体がないので、かたちある物も一時的な存在にすぎない。

「色即是空」は、かたちある物は、つまり実体なきもの。

「空即是色」は、実体がないことが、かたちある物になっていく。

何だかわかったような、わからないような…。かたちある物はたまたまいろいろ条件によって一時的な存在として目の前にあるだけです。ということでしょう、たぶん。

次の八文字「受想行識(じゆーそうぎようしき)亦復如是(やくふーいーぜー)」の受想行識も五蘊でした。心を構成する四つの要素で

す。

つまり、心を構成する四つの要素も色(かたちある物)と同じ。一時的な思いにすぎず、本来は実体がないものと教えています。

物も心もいろいろ条件によってたまたま存在しているだけ。それが理解できれば、何かに執着することもなく、「欲」もなくなります。

多くの人に親しまれるご心経。わずか三百文字の短いお経の中に、お釈迦様の教え、人間関係や社会の問題を和らげる心のあり方、生き方についての教えがたくさん詰まっています。

みんなが「色」「受想行識」つまり「五蘊」の本質を理解できれば、国同士、人同士の争いや問題も少なくなるでしょうね。

それでは、また来月。ごきげんよう。合掌。

※



かわら版執筆者 大塚耕平

愛知県名古屋市生まれ。知立と並んで「弘法さん」の縁日で有名な覚王山が出身学区。地元の歴史・文化の継承と振興のために「弘法さんかわら版」を執筆し始めて14年目。一昨年から、覚王山日泰寺に続いて知立遍照院の縁日でも「弘法さんかわら版」がスタート。

愛知県立旭丘高校、早稲田大学・大学院を経て、日本銀行に18年間勤務。2001年から参議院議員。元内閣府副大臣・厚生労働副大臣。現在、早稲田大学と中央大学大学院の客員教授を兼務。

弘法さんかわら版

弘法大師の生涯と覚王山

覚王山版の第1号から第78号は、2008年に大法輪閣から本になって出版されました

好評発売中

大法輪閣

(仏教書の老舗出版社)

営業部：電話 03-5466-1401

